

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29 年 6 月 30 日

計画の名称	33 大阪市共同溝整備・改修計画（防災・安全）		
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）	交付対象	大阪市
計画の目標			

都市防災機能の向上とともに、道路の保全や安全で快適な通行空間の確保を図るべく、ライフラインである公益施設（上下水道、ガス、電気、通信等）を道路の地下にまとめて収容する共同溝の整備を推進する。

計画の成果目標（定量的指標）

共同溝の整備を進めるとともに整備済みの共同溝を健全な状態に保つことにより、災害時における市内のライフラインの供給が確保される。

- ・ 共同溝整備率を、平成28年度末に89%となるように整備を推進する。
- ・ 共同溝健全度を、平成28年度末に100となるように整備を推進する。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)
------------------	-----------------	-----------------

市域における共同溝の整備計画延長に占める整備済み延長の比率

$$\text{共同溝整備率 (\%)} = \frac{\text{大阪市域における共同溝の整備済み延長}}{\text{大阪市域における共同溝の整備計画延長}} \times 100$$

64%

82%

89%

市内の共同溝において、躯体の点検、改修および設備の改修について、進捗率を共同溝健全度として算出(平成28年度までの実施分)

$$\text{共同溝健全度} = (\text{躯体点検} + \text{躯体修繕} + \text{設備改修}) \text{ (最高100点)}$$

0

28

100

全体事業費

合計
(A+B+C)

2,848百万円

A

2,848百万円

B

0百万円

C

0百万円

効果促進事業費の割合
C / (A+B+C)

0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

平成29年6月

大阪市において評価を実施

公表の方法

大阪市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 道路事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
33-A1	道路	一般	大阪市	直接		国道	改築	国道25号・御堂筋共同溝	共同溝整備 (3.7km)	大阪市						2,848.3	
33-A2	道路	一般	大阪市	直接		国道	改築	国道479号・清水共同溝	共同溝整備 (2.0km)	大阪市						0.0	
33-A3	道路	一般	大阪市	直接		市町村道	修繕	大阪環状線・北野都島線共同溝	共同溝躯体修繕	大阪市						0.0	市単独費で実施
33-A4	道路	一般	大阪市	直接		国道	修繕	国道479号・新庄大和川線共同溝	共同溝躯体修繕	大阪市						0.0	市単独費で実施
33-A5	道路	一般	大阪市	直接		市町村道	修繕	扇町公園南通線・扇町供給管共同溝	共同溝躯体修繕	大阪市						0.0	
33-A6	道路	一般	大阪市	直接		市町村道	修繕	福島桜島線・桜島守口線共同溝	共同溝躯体修繕	大阪市						0.0	
33-A7	道路	一般	大阪市	直接		国道	修繕	国道308号・深江共同溝	共同溝躯体修繕	大阪市						0.0	
33-A8	道路	一般	大阪市	直接		国道	修繕	国道479号・諏訪共同溝	共同溝躯体修繕	大阪市						0.0	
33-A9	道路	一般	大阪市	直接		市町村道	修繕	大阪環状線・北野都島線共同溝	共同溝設備改修	大阪市						0.0	市単独費で実施
33-A10	道路	一般	大阪市	直接		国道	修繕	国道479号・新庄大和川線共同溝	共同溝設備改修	大阪市						0.0	市単独費で実施
33-A11	道路	一般	大阪市	直接		市町村道	修繕	福島桜島線・桜島守口線共同溝	共同溝設備改修	大阪市						0.0	市単独費で実施
33-A12	道路	一般	大阪市	直接		国道	修繕	国道308号・深江共同溝	共同溝設備改修	大阪市						0.0	市単独費で実施
33-A13	道路	一般	大阪市	直接		国道	修繕	国道479号・諏訪共同溝	共同溝設備改修	大阪市						0.0	
33-A14	道路	一般	大阪市	直接		国道	修繕	既設共同溝の点検調査及び計画策定事業	点検及び維持管理計画策定	大阪市						0.0	市単独費で実施
33-A15	道路	一般	大阪市	直接		都道府県道	修繕	既設共同溝の点検調査及び計画策定事業	点検及び維持管理計画策定	大阪市						0.0	市単独費で実施
合計																2,848.3	

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 共同溝の整備を着実に進めるとともに、共同溝の維持管理計画に基づいた修繕等により施設を健全な状態に保ち、災害時におけるライフラインの供給を確保することができる。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① 共同溝整備率	最終目標値	89%	目標値と実績値 に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> 共同溝整備箇所において、地中障害物等の対応に多大な時間を要したことにより、整備進捗に大幅な遅れが生じた。 共同溝の維持管理を適切に行ったことにより、目標値を達成することができた。
		最終実績値	63.6%		
	指標② 共同溝健全度	最終目標値	100	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項(今後の方針等)					
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年3月17日より、新たな社会資本総合整備計画「大阪市共同溝整備・改修計画(防災・安全)」により継続して事業を実施しており、共同溝の整備において、特に大きな問題もなく、早期完成に向け着実な事業進捗を図っている。 					

(様式第3)

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	33 大阪市共同溝整備・改修計画 (防災・安全)	交付対象	大阪市
計画の期間	平成24年度～平成28年度 (5年間)		

[凡例]
— : 交付対象事業箇所

33-A1～A13

